

8050 問題シンポジウム・レジュメ

福岡「楠の会」吉村文恵

- ・8050 問題は今親の会など支援機関に繋がっている方の問題ではないかもしれない。80 歳以上の方の会員は大変少ない。ただ漠然とした不安感はある。でもそこまで思いたくない、その前に何とかなっている、何とかしておきたい、と言うことのようなのだ。
- ・8050 問題で一番切実感を持っているのは、兄弟姉妹ではないだろうか。親に対して怨みのような怒りのような感情を抱いていることがあるようだ。そのことをしっかり対応しておく必要がある。
- ・ひきこもりの子を何とかしなければではない。今の日本の社会全体が病んでいる、という視点を持とう。私たち親が、生きていく希望が持てるような生き方をしていこう。子どもにしっかり見られていることを忘れずに。
- ・まだ支援に繋がってなくて、ひっそりと身を隠している方々に目をやり、できることを考え、手を差し伸べていこう。
- ・8050 問題を過剰に不安がらず、まず家族が必要とされている学びをやっていこう（下段）。70 歳 80 歳は残り時間が少ない。口先はもう結構、実行することが大事。
- ・推薦図書 ひきこもりの家族関係 田中千穂子著

○親が避けるべきこと 4 か条【A C I D（酸っぱいこと）】

（四戸智昭先生 H30.1.19 講演会より）

- 1.無気力（Apathy）を避ける：ひきこもりの解決のために自分から動くことができる。一つの解決方法だけに固執しない。様々な情報を求めようとする。
- 2.支配的になることを避ける（Controlling）：自分が小さく無力であることを認める。自分に問題を解決する力があると過信しない。
- 3.孤立を避ける（Isolation）：変化を受け入れる。自分の理にかなっていないアドバイスを受け入れることができる。
- 4.他者依存的になることを避ける（Dependence）：専門家やパートナー任せにしない。